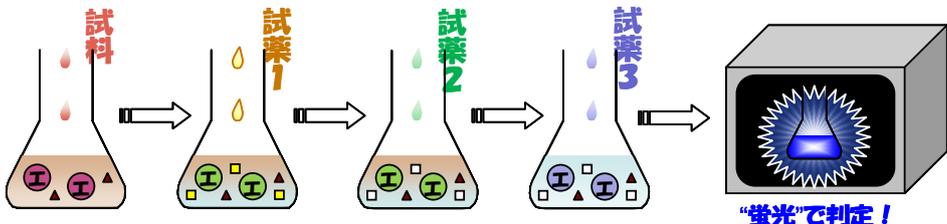


整理番号	HT28180	分野	医歯薬学	(キーワード)	生薬
------	---------	----	------	---------	----

新潟薬科大学

身近にある食べ物からおくすりになるものを見つけよう！

先生(代表者)	大和 進(やまと すすむ) 薬学部・教授			
自己紹介	現在の専門分野は分析化学という領域です。体の中に入った薬がどのくらい血液の中にあるのか、健康を害したときには、体の中の成分がどのように変化しているのか、などを調べる方法を研究しています。趣味は旅行と旅先での“食”です。だから、“食いしん坊”なのです。学生時代には“漢方薬”を研究する部活を通して多くの友達をつくり、今でも交流を続けています。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 28 年 8 月 23 日(火)	(対象)	小学 5, 6 年生	(人数) 24 名
集合場所・時間	新潟薬科大学		(集合時間)	10:30
開催会場	新潟薬科大学 住所: 〒956-8603 新潟市秋葉区東島265-1 アクセスマップ: http://www.nupals.ac.jp/about/access.html			
内 容				
<p>かぜ薬である葛根湯(かっこんとう)の成分をそれぞれ調べ、身近にある食品とのつながりを見つけます。また、葛根湯の中で、病院で緊急時にも使われているおくすりの成分をとりだしてみます。さらに、お茶の中に含まれるポリフェノールという成分を取り出し、この成分の病気を治す働きについて学びます。まとめとして、クッキーを食べてクッキーに含まれる成分と葛根湯の成分を比較し、そしてポリフェノール量の違うお茶を飲んでみます。</p>				
				
スケジュール			持ち物	
<p>【送迎バス】 津川駅(9:00)-五泉駅(9:40)-本学(10:10) 新津駅東口キャンパス-本学 (スクールバス運行スケジュールで運行予定)</p>			<p>筆記用具 (参加生徒の皆さんの昼食はこちらで準備します。引率の保護者の方、先生は各自ご用意ください。)</p>	
<p>10:00~10:30 受付(新潟薬科大学正面玄関集合) 10:30~10:50 開講式 (あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) 10:50~11:00 休憩 11:00~11:30 講義 「食品のなかからくすりをみつける(講師:大和 進)」 11:40~12:15 昼食休憩(軽食、お茶)</p>			特記事項	
			<p>動きやすい服装でご参加ください。 安全のため、スニーカーでの参加をお勧めします。</p> <p>・送迎バスをご利用の方は、必ず大学に乗車の申し込みをしてください(スクールバスを除く)。</p>	

12:15~14:25	実験内容の説明と白衣準備(15分) 実験1(葛根湯の分別、エフェドリンの検出 25分×2) 実験2(緑茶中のポリフェノールの分析 25分) 研究室紹介と見学(25分) 上記をローテーションで行う(実験ごとに5分休憩)	
14:25~14:35	移動	
14:35~14:55	クッキータイム(実験3 ポリフェノール量の違う 緑茶の試飲、シナモンクッキー試食)	
15:00~15:25	修了式(未来博士号授与、アンケート記入)、終了	
【送迎バス】		
本学(15:30)-五泉駅(16:00)-津川駅(16:40)		
本学-新津駅東口キャンパス(スクールバス運行スケジュールで運行予定)		

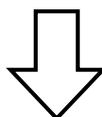
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	新潟薬科大学教育連携推進センター
住所：	新潟市秋葉区東島265-1
TEL 番号：	0250-25-5000
FAX 番号：	0250-25-5021
E-mail：	edu@nupals.ac.jp
申込締切日：	平成28年8月5日(金)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大和 進	H19-20	基盤研究(C)	19590047	副腎皮質培養細胞系を用いる抗ストレス薬評価を目的としたステロイド類定量法の開発
大和 進	H23-25	基盤研究(C)	23590205	脳エネルギーの代替にケトン体を利用するアルツハイマー病の新規治療戦略
大和 進	H27-29	基盤研究(C)	15K08084	胆汁酸への異化代謝促進による高コレステロール血症の治療および予防対策



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。